

ジェンダーと「女らしさ・男らしさ」の
偏見を乗り越えるためには

8グループ D.Y (Bigender)
D.S (Cisgender Female)
N.M (Cisgender Woman)



目次

- ・はじめに (p.3)
- ・なぜジェンダー教育は必要なのか (p.4)
- ・ジェンダー教育に対する留意点 (p.5)
- ・小中高でのジェンダー教育 (p.6)
- ・小中高でのジェンダー教育について
～具体案～ (p.7)
- ・小中高でのジェンダー教育について
～WSへの補足～ (p.8)

- ・指導内容～小学校～ (pp.9-11)
- ・指導内容～中学校～ (pp.12-15)
- ・指導内容～高校～ (pp.16-23)
- ・最終目標 (p.24)
- ・参考文献 (pp.25-27)

はじめに

ジェンダーに関する働きかけは、国際労働機構（ILO）総会で1919年に採択された「母性保護条約」に端を発する。その後、労働や雇用条件など「働く男女の権利」に関わる差別や問題を中心に取り組まれてきた。

現在ジェンダー問題は、生得的な性差の問題だけでは収まらなくなっている。また、差を埋めるにとどまらず、各々の抱える特性や多様性を認めながら、いかに共存していくかということが問題となっている。

目に見えない「差」、目に見える「違い」をいかに解釈するか、偏見や固定観念が植え付けられていない子どものうちから考えさせ、身に着けさせることが、今後の社会発展につながるのではないだろうか。

もはや、大人だけが考え、伝達するだけでは、たりないのではないだろうか。

なぜジェンダー教育は必要なのか

ジェンダーとは、社会的に、相対的に構築されたものであり、文化や時代により変化するものである。また、社会的な責任、意思決定機会において、不平等が生じることもある。

「世界国際フォーラム」のレポートによると、2021年現在、日本のジェンダギャップの度合いは**120/156カ国**である。男女不平等やセクハラなどが注目されつつあるが、人々の意識に対して政策や具体的な行動は追いついておらず、不本意なジェンダーバイアスも潜んでいる可能性が高い。

若いうちから、ジェンダーに対する意識を高めていくことで、社会に出たときに違和感に気づき、自ら適切な処置をする力を持つことが必須となるだろう。

また、世代間での認識格差、過去の問題を知りながら、それらを切り捨てたり無視するのではなく、**包括的に解決へと導く力が必要不可欠だ**。どの様にアプローチしていくべきか、「**考え方**」と「**行動力**」の基礎を身に着けることが、ジェンダー間の軋轢のある社会で生きる現在の子ども達には必要不可欠だと考える。

ジェンダー教育に対する留意点

- ・ 生得的な性と、後天的な性の違いを明らかにし、混同しないこと。
- ・ 生得的な性の違いによる機能面の差、違いを考慮する姿勢も必要であること。「差別」と「区別」の境界線について適宜考える必要がある。
- ・ ジェンダーの多様性に対する考え方、捉え方は文化や時代、人によって異なる。学んだことが必ずしも正解かどうかは、都度判断していかななくてはならない。
- ・ 総合の時間のみならず、日常生活からの意識づけが必要。教師陣の固定観念の押し付けにならないよう気を付けなくてはならない。



小中高でのジェンダー教育

ジェンダーに関わらず、人の「固定観念」や「常識」を変革することは、一朝一夕にできるものではない。そのため、早いうちから学び、徐々に「認知➤理解➤行動(変容)➤一般化」の過程をたどっていくことが望ましい。

ジェンダー問題には、主に「LGBTQ+」と「ジェンダーバイアス」の問題がある。それぞれを体系立てて教えつつ、相互に関連することを確認したい。

pp.6~7に、我々が考える小学校から高校までのジェンダー教育について示した。

身近な事象をもとに、発達過程に応じた考える力、自分なりの意見を持つ力を育てていく。

さらに、社会や歴史教育などと絡めながら、複合的な学習を目指す。高校時には、今後社会進出するにあたっての困難・壁について知り、この解決方法を探求する。政治や法への関心も仰ぎたい。

小中高でのジェンダー教育について

LGBTQ+教育と
性別格差について
同時に学ぶ

	LGBTQ+教育	性別格差
小 学 校	・ジェンダーって何？ WS：LGBTQ+は本当にマイノリティなのか？	・将来の夢と男女差 WS：「将来の夢」に関する歴史の変遷から、男女の違いについて捉える。違和感はないか、どんな変化があるかを知る。
中 学 校	・制服に男女の区別は必要？ WS：互いに制服を交換して着てみる。 どうして「女子はスカート」なのか？	・男らしさ、女らしさとは何か？ ・子育ては女性だけの役割なのか？ ・生理ははずかしいことなのか？ WS1：「理想の相手」について書き、互いに見てみる。 WS2：ジェンダーから見る『進撃の巨人』
高 等 学 校	・世界と日本のジェンダーに対するアプローチ差を見る ・果たして性別は必要なのか？ WS1：どうしてFacebookの性別登録には58種類もの選択肢を設けなくてはなくなったのか？ WS2：どうやって世界を変えていく？	・差別と区別の差をしろ ・社会に出たときの「壁」を知る WS1：ケーススタディで家族間におきる困難に向き合おう。 WS2：どうして女性専用車両はできたのだろうか？男性差別なのか？ WS3：社会に出た女性の現状を体験談から知る。どうして「差」がでてしまうのか討論をする。女性陣は、どうやって立ち向かうべきか？

職業や服装など
身近なところから
考える

互いの問題が関係しあっ
ていることを確認する

性が多様化・複雑化
もはや全員が
“性的少数者”かも

違いを受け入れる姿勢
“アライ”

「スカート」が「女性の
象徴」になってしまった
理由

性別格差との関連性も発
見できるかも

選択肢が多すぎるのはど
うして？
そんなに必要なのか？

社会を変えるための方法
を考えてみよう

	LGBTQ+教育	性別格差
小 学 校	・ジェンダーって何？ WS：LGBTQ+は本当にマイノリティなのか？	・将来の夢と男女差 WS：「将来の夢」に関する歴史の変遷から、男女の違いについて捉える。違和感はないか、どんな変化があるかを知る。
中 学 校	・制服に男女の区別は必要？ WS：互いに制服を交換して着てみる。どうして「女子はスカート」なのか？	・男らしさ、女らしさとは何か？ ・子育ては女性だけの役割なのか？ ・生理ははずかしいことなのか？ WS1：「理想の相手」について書き、互いに見てみる。 WS2：ジェンダーから見る『進撃の巨人』
高 等 学 校	・世界と日本のジェンダーに対するアプローチ差を見る ・果たして性別は必要なのか？ WS1：どうしてFacebookの性別登録には58種類もの選択肢を設けなくてはいけなくなったのか？ WS2：どうやって世界を変えていく？	・差別と区別の差をしろう ・社会に出たときの「壁」を知る WS1：ケーススタディで家族間におきうる困難に向き合おう。 WS2：どうして女性専用車両はできたのだろうか？男性差別なのか？ WS3：社会に出た女性の現状を体験談から知る。どうして「差」がでてしまうのか討論をする。女性陣は、どうやって立ち向かうべきか？

政治参画の必要性

「女性しかできない」「男性しかできない」
職はあるか？

結婚相手に何を求める？
それは性別に依存していない
だろうか？

ミカサがエレンを守る？
巨人は性別がわからない
性別がわかりにくい
登場人物について

「性の性質」は変わらないが、「社会制度」は変えられる

理論上の平等と現状の違いを知る

小学校（LGBTQ＋教育）

「ジェンダー」、「性」って何？

→「性」は4つのバランスでできる自分だけの個性”

1 こころの性（性自認）

・・・自分で認識している自分の性別のこと

2 好きになる性（性的指向）

・・・恋愛感情を抱く相手の性別と自分の性別との関係のこと

3 行動や言動（性別表現）

・・・ふるまいや服装などで示す性別に関する表現のこと

4 からだの性（生物学的性）

・・・生殖器などの生まれ持ったからだの性別のこと

※「性」を正しく理解して「男女」だけではないことを知る、多様な性があるといいんだという意識を持つことが大切！！

→ステレオタイプや偏見を持たないようにすることができる



小学校（男女格差）

どんな仕事に就きたい？

小学校（男女格差）

【男の子が「将来就きたい職業」】（マイナビ）

位	2020年	位	2019年	位	2010年	位	2000年
1	スポーツ選手	1	スポーツ選手	1	スポーツ選手	1	スポーツ選手
2	警察官	2	警察官	2	消防・レスキュー隊	2	警察官
3	運転士・運転手	3	運転士・運転手	3	警察官	3	大工・職人
4	消防・レスキュー隊	4	TV/アニメキャラクター	4	運転士・運転手	4	消防・レスキュー隊
5	TV/アニメキャラクター	5	消防・レスキュー隊	5	大工・職人	5	運転士・運転手
6	研究者	6	研究者	6	ケーキ屋・パン屋	6	自営業
7	ケーキ屋・パン屋	7	ケーキ屋・パン屋	7	研究者	7	おもちゃ屋
8	医師	8	医師	8	TV/アニメキャラクター	8	ケーキ屋・パン屋
9	大工・職人	9	大工・職人	9	パイロット	9	パイロット
10	ユーチューバー	10	芸能人・歌手・モデル	10	医師	10	会社員

1970（朝日新聞）
エンジニア
プロ野球選手
サラリーマン
パイロット
電気技師
医者
自家営業
科学者
建築設計士
マンガ家

・ 50年間で、目指す職にどのような変化がみられるか確認する？

・ 70年代に比べて変わった**表現**はあるか。

【女の子が「将来就きたい職業」】（マイナビ）

位	2020年	位	2019年	位	2010年	位	2000年
1	ケーキ屋・パン屋	1	ケーキ屋・パン屋	1	ケーキ屋・パン屋	1	ケーキ屋・パン屋
2	芸能人・歌手・モデル	2	芸能人・歌手・モデル	2	花屋	2	花屋
3	看護師	3	花屋	3	芸能人・歌手・モデル	3	看護師
4	花屋	4	看護師	4	教員	4	教員
5	保育士	5	保育士	5	看護師	5	保育士
6	アイスクリーム屋	6	アイスクリーム屋	6	保育士	6	自営業
7	医師	7	教員	7	スポーツ選手	7	医師
8	教員	8	医師	8	美容師	8	芸能人・歌手・モデル
9	警察官	9	美容師	9	医師	9	音楽講師
10	美容師	10	警察官	10	アイスクリーム屋	10	美容師

1970（朝日新聞）
スチュワーデス
デザイナー
先生
看護婦
タレント
ジャーナリスト
マンガ家
小説家
婦人警察官
美容師

・ 2018年は約**33%**、1970年は約**60%**が「**専業主婦**」である→なりたい職業にはランクインしていないのに、なぜか？

中学校（LGBTQ+教育）

スカートは女の子、ズボンは男の子？

カナダのケベック州の学校において、男子学生コリン・ルノーは、性差別に対する抗議運動に触発され、スカートを履いて学校へ

指導官は彼に「君はトランスジェンダーかゲイなのか」訪ね、続いて「**スカートは女の子が着る**ものだ」と言った。

→スカートを着る理由に女性・トランスジェンダー・ゲイなどの理由が必要とされていることに違和感

→本来は誰もが選択を尊重されるべきではないのか？

→そもそも、「男・女」の区別は本当に必要なのか？

中学生（男女格差） 中学生に気づいてほしいジェンダーステレオタイプ

- ・「男らしさ」、「女らしさ」って何？

→「男は強く」、「女はおしとやかに」というようなステレオタイプが気づかないうちに刷り込まれている

例）男子はより運動部に所属し、女子はより文化部に所属する

- ・男は働き、女は家庭を守るべき？

例）女子マネージャーはいるのに男子マネージャーはほとんどいない

- ・男の方が高い地位につきやすい？

例）生徒会長は男子になることが多い

- ・スカートは女が履くもの？

例）ほとんどの学校の制服で男子はズボン、女子はスカートを履くことが決められている



画像：Twitterより「conan gray」

(https://www.google.com/imgres?imgurl=https%3A%2F%2Fpbs.twimg.com%2Fmedia%2FEdJd8qxU0AEXIXf.jpg%3A%2F%2Fimgrefurl=https%3A%2F%2Ftwitter.com%2Fconangray%2Fstatus%2F1284192148141666304&ibnd=z2v8lX7MwJcIM&vet=12ahUKewj8caulqPzAhvIGKYKHbBvBOcQMygAegQIARb6_I8docid=tv9BTeGYcsdl7M&w=1536&h=2048&q=conan%20gray%20skirt&ved=2ahUKewj8caulqPzAhvIGKYKHbBvBOcQMygAegQIARb6)

どれも時代遅れなステレオタイプ！！！！

WS①：結婚相手に何を求めるか？

- ・匿名で、自分の「理想の結婚相手」について書いてみる。（結婚願望がなければ、「なし」とその理由を）

- ・全てのデータを集計して先天的性別をもとに内容を振り分ける

- ・互いにどんな条件を求めているか知る

→その条件、自分では解決できないこと？

どうして相手にもとめているのか？



WS②：『進撃の巨人』で見る性



「守る」「守られる」関係の逆転

- ・ 漫画や小説にみられるジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアスを確認する。（明らかに登場人物の性格というわけでない特徴）

- ・ ジェンダーバイアスを打ち破っている作品に触れ（例：『進撃の巨人』）、比較を行う。

- ・ 漫画の中に描かれている「性的役割」は何であるか。時代の変遷と共に変わってきているのだろうか？

- ・ 現代版「シンデレラ」（Amazon prime）の鑑賞など、映像や漫画、絵画など比較的とっつきやすい教材を用いるとよいのではないだろうか。

授業構想（高校生を対象として）

対象：普通科高校の高校1年生

前提：小中学校である程度のジェンダー教育を受けているとよいが、
まったく受けていなかったとしても「ジェンダー」と「男女格差」の両問題を考えられるような授業展開を行う。

近く訪れる「就職」「家庭形成」に際して、ぶつかる可能性のある「障壁」を知り、対処法を考えていく。

高校（LGBTQ+）

LGBTQ2先進国としてのカナダ

日本の同性婚は全土で認められておらず、まだ一部の都市しか認可されていないが...

- ・トルドー首相が過去の性的少数者差別について公的に謝罪
- ・1969年、ケベック州が世界で初めて同性愛行為を合法に
(2005年には全土で合法)

一方で、同性愛に対する理解が依然として得られない国の人々「LGBTQ2難民」がカナダに移民

→カナダ移民省も、支援金を出すなど賛同的

☞日本にはどんな制度があるだろうか？

どんな問題を抱えているだろうか？

毎年夏、都市では
プライドパレード*が行われる🏳️

* LGBTQ文化を讃えるデモのこと。



高校（男女格差）

WS①

Case Studyで家庭内で起きうる困難に向き合う

WS① Case Studyで家庭内で起きうる困難に向き合う

ペアを作って「妻役」「旦那役」を演じる。

【旦那（36才）】

- ・定職についている
- ・半年後に転職の打診が来た
- ・2歳の子どもがいる
- ・家族は一緒に暮らすべき、という信念を持っている
- ・両親は存命、近くにはいない
- ・住宅は賃貸、4年契約で1年目
- ・上昇志向
- ・家事・育児に不安

【妻（36才）】

- ・定職についており、旦那と同じくらいの稼ぎがある
- ・2歳の子どもがいる
- ・家族は時に離れてもよいという考えである。
- ・母は他界、父は要介護者
- ・住宅は賃貸、4年契約で1年目
- ・もう一人子どもがほしいと思っているが旦那には言っていない
- ・語学はあまり得意ではない

・互いの条件は相手に見せないこと

・単身赴任、家族ごと移住など、転職しない...など、いくつかのパターンが考えられるか？それぞれの利点・懸念される問題は何か？

・家族内で、どのような未来を歩むかを決定する。
結論と共に、理由も含めて発表する

・決定に際して何が難しかったか？どちらかだけが我慢する結論になっていないかを振り返る

高校（男女格差）

WS②

どうして「女性専用車両」はあるのだろうか？

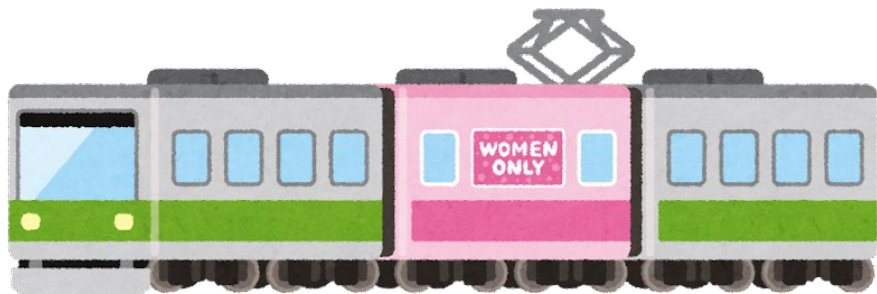
高校（男女格差）

WS② どうして「女性車両」はあるのだろうか？

「女性専用車両」や

「レディースデー」は、

いわゆる男性差別なのか？



・ 「女性専用車両」とはなにか？
どうしてできたのか？
について調べる。

・ 優遇されているのは女性だけ
だろうか？

・ 「レディースデー」はどうし
て沢山あるのだろうか？

・ 「メンズデー」を設ければい
いのだろうか？

・ 制度に違いがあるとき、前提
として何らかの格差がある可能
性がある

→ 見方を変えると根本的な問題
が見えてくるのではないかな？

高校（男女格差）

WS③

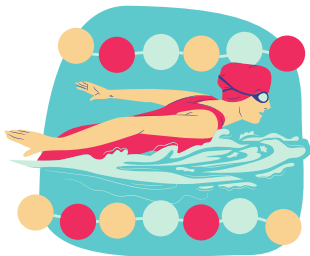
女性の社会進出を阻む壁について

高校（男女格差）

WS③ 女性の社会進出を阻む壁について

男女の雇用機会は随分と

改善されてきたはずだが…？



社会を変えてきた女性たちの
話を聞いてみよう

- ・ 男女の雇用機会の変化について確認する

- ・ 専業主婦の割合、年金制度から見る男女差を確認する

- ・ 果たして本当に男女は平等になりつつあるのだろうか？

- ・ 女性が働きやすければ、少子化や未婚男女の数はへるのだろうか？

▶ 現状を変えていくにはどうすればいいのか？

最終目標

- ・ ジェンダーは多種多様であり、明確に分けることは困難であることを理解する。
- ・ ジェンダーや性に対するステレオタイプに気づく。
- ・ 男女間での区別があることが、生きづらさを作る原因になっている可能性を考える

→ジェンダーは「個性」としてみればいいのではないか？

- ・ 先天的性別差による機能差は少なからずある。これに準ずる制度やサポートは、差別には当たらない、区別である。（どこまでが必要なサポートなのかは慎重に考慮）
- ・ 自分や他人の違いを受け入れる気持ちを持つこと。
- ・ 今の日本には、少なからず格差や壁がある（特に女性には）。今後自分たちがいかに改革していけるか、行動を起こすべきかを考える。身近な問題として考えていく姿勢を。

参考文献

(表紙)

画像 : Canva “Pink Creative Pride Virtual Trivia Quiz Presentations” (<https://www.canva.com/>)

(p.2)

- ・ 国際労働機関「ジェンダー」 (https://www.ilo.org/tokyo/areas-of-work/WCMS_734953/lang--ja/index.htm)

(p.3)

- ・ Teach For JAPAN 「【教育×SDGs】日本のジェンダーギャップ是正に向け教育ができることとは？」

(<https://teachforjapan.org/entry/column/2021/05/24/education-gender-gap-equity-equality/>)

(p.9)

- ・ #U30が知っておきたい〇〇のこと～LGBTQ +編～

https://www.instagram.com/p/CJYhJ9onC0W/?utm_medium=copy_link

- ・ SDGs画像 (<https://sdgs-support.or.jp/journal/wp-content/uploads/2018/11/sdgs5.png>)

(p.11)

- ・ マイナビニュース「2020版「新小学生が就きたい職業」「親の就かせたい職業」発表 - 親と子どもの希望の違いは？」

([mynavihttps://news.mynavi.jp/article/20200403-1009763/i.jp](https://news.mynavi.jp/article/20200403-1009763/i.jp))

- ・ MechaAG「専業主婦の推移」 ([tumblr.https://news.mynavi.jp/article/20200403-1009763/om](https://news.mynavi.jp/article/20200403-1009763/om))

(p.12)

- ・ msn news “Boys wear skirts to school to protest against sexism and discrimination against women”

<https://montrealgazette.com/news/local-news/boys-wear-skirts-to-school-to-protest-sexism>)

- ・ LGBTQ Refugees - IRCC

<https://www.canada.ca/en/immigration-refugees-citizenship/services/refugees/canada-role/lgbtq2.html>

- ・ TORJA「数字で見るLGBTQ+ 特集 カナダ『LGBTQ+』」 (<https://torja.ca/numbers-lgbtq/>)

参考文献

(p.13)

- ・ 画像 : Twitterより「conan gray」 (<https://www.google.com/imgres?imgurl=https%3A%2F%2Fpbs.twimg.com%2Fmedia%2FEdJd8qxU0AEXIXf.jpg%3Alarge&imgrefurl=https%3A%2F%2Ftwitter.com%2Fconangray%2Fstatus%2F1284192148141666304&tbnid=z2vBIXFMwJO-IM&vet=12ahUKEwjx8caulqPzAhViGKYKHbBvBOcQMygAegQIARB6..i&docid=tv9BTeGYcsdl7M&w=1536&h=2048&q=conan%20gray%20skirt&ved=2ahUKEwjx8caulqPzAhViGKYKHbBvBOcQMygAegQIARB6>)

(p.17)

- ・ TORJA「数字で見るカナダのLGBTQ+第二弾」 (<https://torja.ca/numbers-lgbtq2/>)
- ・ 画像 : 画像 : Lgbtをサポートする人々のキャラクターイラスト 無料ベクター (https://jp.freepik.com/free-vector/character-illustration-of-people-holding-lgbt-support-icons_3226159.htm)
- ・ Anglican Diocese of New Westminster「Canada announces new initiative to support LGBTQ2 refugees」 ([Canada announces new initiative to support LGBTQ2 refugees | Unit Groups | Anglican Diocese of New Westminster](#))

(p.22)

- ・ 画像 : Canva (<https://www.canva.com/>)
(最終閲覧日2021/10/20)